

(実践報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	患者さんを幸せに！訪問薬剤師の役割とは
演者名	池田 彩子 1) 望月 正英 1) 古屋 聡 2)
所属	1) 山梨市立牧丘病院 薬剤科 2) 山梨市立牧丘病院 整形外科

【目的】 牧丘病院（以下当院）での訪問薬剤管理指導において、直接的に服薬に関係しないようにみえる仕事が、患者さんの生活にどのように影響するか考察し、訪問薬剤師の仕事の内容と質について検討する。【実践内容】 2 例について検討。1 例目は、施設に入所されていた患者さんが自宅に帰宅される前に、関係者でご自宅の庭の整理と家の中の清掃を行った。2 例目は、パーキンソン病を患っている独居の方への訪問時、少し体調が悪いと話されたので、主治医に報告するとともに再度夜間に訪問すると、体調はよくなっていたが、食料がないことがわかり買い物に同行した。そこから普段からタクシーで清涼飲料水をペットボトルで購入されていることを知り、粉末タイプの商品があることを紹介した。【実践効果】 1 例目では、施設退所後から問題なく生活をおくることができ、家の中が整理されて服薬コンプライアンスも向上した。2 例目では、さらなる症状の悪化を防ぐことができ、入院も回避され、その後 ADL は回復した。また買い物の利便性もあがり、経済的損失も減らすことができた。【考察】 2 例より専門職としての仕事と関係がないようにみえても、患者さんの生活を改善することに時間をかけることにより、信頼関係が深まり、さらにより薬剤管理指導を行うことができると考えられる。さらに、当院では薬剤師以外にも 4 職種が訪問を行っていて、同様のスタンスで行動し、多職種で協力できることも当院ならではのポイントだと言える。訪問薬剤師の仕事は「患者さんを幸せにすることだ」と思うと、患者さんの生活に関わるどんなことがらも、薬剤師である自分に関わりがあると思えてくる。訪問薬剤師の仕事の「質」は、その内容に関わらず、患者さんにとっての「幸せ貢献度」ではかられるべきだと考える。